

平成24年度

中間自己評価結果

(資料)



平成24年10月10日（水）

北九州市立高須中学校

〒808-0147

北九州市若松区高須北一丁目1番1号

(TEL) 093-741-2310

(FAX) 093-741-2318

1 「学校評価システムの構築」を目指して

本校は、「学校評価の取組は、評価結果に一喜一憂するのではなく、学校のよさや特色を明確にし、積極的に発信することにより、学校の伝統として育てていくことにある。」と考えています。また、本校は、学校評価の取組を通して、保護者や地域の皆さんに学校の現状と取組に対する理解を得ることができ、そして、学校を共に良くしていくための前向きな方策をまず学校が考え発信していくことが、これからの新しい時代における学校と家庭・地域の在り方として求められていると考えています。

過去の研究から、本校は、学校評価に対する基本的な考え方が以下の3点であると考えています。



本校の学校評価に対する基本的な考え方

- (1) 学校評価＝学校経営診断ではありません。学校評価は、学校の改善点を探し出すためだけにされるものではありません。
- (2) 学校評価の主体は、あくまでも学校です。
- (3) 学校評価は、情報発信のひとつです。
 - ① 「自己評価項目」は学校が具体的に取組もうとする宣言文です。
 - ② 「保護者アンケート」や「生徒アンケート」は生徒と共に育てていこうという学校からの情報発信です。

また昨年度から本校は、次の点に留意して学校評価に取り組んできました。

「学校のよさや特色」を発信する学校評価

- ① 「学校の取組を宣言し、学校の意欲を発信する」自己評価の取組
- ② 「目指す生徒像と学校像を発信する」保護者アンケートの取組
- ③ 「学校のよさや特色を発信し、伝統として育てていく」学校評価の取組
- ④ 「学校の応援団づくり」を目指す学校関係者評価の取組

本校は、「学校評価の取組は、評価ポイントの高い項目を、学校と保護者、地域が共通理解して学校のよさや学校の特色として伸ばし、さらに伝統として育てていくことにある」と考えています。今まで、学校評価結果の分析は、比較的、評価ポイントの低い項目に目が奪われがちであり、改善の方向を示して取り組むことに重視する傾向がありました。そのため本校は、今後とも、評価ポイントの高い項目こそ学校のよさや特色としてとらえ、本校の伝統として積極的に情報発信していきます。

また、本校は、保護者の皆さんにご協力頂いている「保護者アンケート」を通して、「目指す子ども像」と「目指す学校像」を発信しようと考え、今後とも取り組んでいきます。

4月15日(日)、PTA総会の前に行った学校運営説明会の様子。たくさんの保護者の方にご参加いただきました。学校の経営方針、学校評価の取組(松山英夫教頭)、自己評価書とアンケート(松原群教務主任)、生徒指導の取組・人間関係づくりプログラムの開発(村田浩一専任生徒指導主事)について説明を行いました【左】同日行われたPTA総会の様子。「子供達の健全育成に向け、一年間頑張っていきます。」と力強く挨拶をされる牧野敏之新PTA会長と新役員の皆さん。一年間よろしくお願いいたします。【右】



2 本校の学校評価年間計画

昨年度から本校は、「学校のよさや特色を積極的に発信する」という視点に基づき、次のように学校評価を実施しています。

「学校のよさや特色を発信する」学校評価年間計画			
月	自己評価の取組	保護者・学校関係者評価の取組	本校のよさや特色の発信
4月	・校長が学校経営方針を示す。	○学校運営説明会の開催 ・学校の教育目標 ・本年度の重点目標・学校評価の取組	○校長通信と学校ホームページにて、学校経営方針を発信する。
5月	・中長期目標の達成に向け、各分掌ごとに短期目標・指標等、自己評価項目の案を検討する。 ※自己評価項目 ・評価基準・教職員自己評価 ・保護者アンケート ・生徒アンケート		
6月	・各分掌から出されたを自己評価項目を検討・調整し、決定する。	○第1回学校関係者評価委員会の開催 ・学校の教育目標・重点目標 ・学校評価の取組・自己評価項目を説明し、意見を求める。	○自己評価項目で、学校の取組を宣言する。
7月	○中間自己評価の実施 ・教職員自己評価 ・保護者・生徒アンケート	○PTA理事会 ・学校評価の取組 ・自己評価項目を説明する。	○「（中間）保護者アンケート」で、「目指す子ども像」を発信する。
8月	・中間学校評価の結果に基づいた教育活動の改善策を検討する。		
9・10月		○PTA理事会 ・中間自己評価の結果 ・結果の考察との改善策を説明する。 ○学校関係者評価委員への情報発信 ・中間自己評価の結果・結果の考察との改善策を発信し、意見を求める。	○「（中間）保護者アンケート」の集計結果から、本校の保護者力と生徒のよさや特色を発信する。 ○校長通信やホームページにて、中間自己評価の結果と考察、学校の改善策を保護者や地域住民に発信する。
12月	○最終自己評価の実施 ・評価基準 ・教職員自己評価 ・保護者・生徒アンケート		○（最終）保護者アンケートで、「目指す生徒像・学校像」（本年度の最重点課題）を発信する。
1月	・最終自己評価の結果に基づいた考察、次年度へ向けた教育活動の改善策を検討する。 ・自己評価結果報告書を作成する。		
2月	・学校関係者評価の結果から次年度へ向けた教育活動の改善策を再検討する。	○学校運営報告会の開催 ・最終自己評価の結果 ・次年度へ向けた改善策を説明する。 ○第2回学校関係者評価委員会の開催 ・最終自己評価の結果と考察 ・次年度へ向けた改善策を説明し、意見を求める。 ○学校関係者評価結果報告書の作成 ・学校の自己評価について ・教育活動その他の学校運営の改善に向けた取組についてなど	○（最終）保護者アンケートの集計結果から、本校のよさや特色を発信する。 ○自己評価結果報告書で学校の意欲を発信する。 ○校長通信・ホームページにて、自己評価結果報告書と学校関係者評価報告書を保護者や地域住民に発信する。
※通年			○常時、学校を開放する。 ○月1回以上（年間20回以上）の重点課題解決に向けた学校開放、指導主事を要請した研究授業を公開する。 ○校長通信「ジャガイモ」の週1回の発行と、校区内の全地域住民へ回覧する。 ○学校ホームページを月1回以上、更新する。

2 中間自己評価の保護者アンケート・生徒アンケートから見える本校の特色

本年度、大変お忙しい中、中間自己評価（7月）に494人（83.7%）もの保護者の方にご協力いただきました。

本校が考える学校評価の視点「学校評価の取組は、評価ポイントの高い項目を、学校と保護者、地域が共通理解して学校のよさや学校の特色として伸ばし、さらに伝統として育てていくことにある」から分析すると、次のような学校のよさ・特色を見出すことができました。

まず、本校が自慢できる保護者力として、本年度も「朝食」の項目を取り上げることができます。

※ 以下の数値は、（保護者ポイント）【生徒ポイント】を示します。平均は2.5ポイントです。

高須中学校の保護者力

① 朝食を食べて登校 （3.8）【3.7】

【給食・食育】昨年度から完全給食がスタートしました。高須小学校と青葉小学校で調理していただき、保温食缶で配送されています。本年度も、生徒会厚生委員会を中心に、牛乳パックの減量化と残食の減量化の推進、給食で使用されている食材の情報を放送で毎日発信しています。また、月1回の「食育だより」などで、「食」の大切さを啓発していきます。

今後とも、本校は、保護者の皆様と連携を図りながら、「食育」を一層推進して参ります。



給食の時間。2年目を迎え、準備もスムーズになりました。「いただきます！」笑顔の3年5組林田利恵学級の皆さん【上】給食の準備開始。毎日、マスクや服装の点検をしてくださる村田浩一先生と小田修平先生【左上】牛乳パックの減量化に取り組む厚生委員長と副委員長、大屋智次先生。40個近くの牛乳パックを出来るだけ2～3個にまとめて返却するよう呼びかけしています。残食のチェックも並行して行われています。厚生委員会による「残食の0」の取組が今後期待されます【右上】



お昼の放送で、毎日、給食で使用されている食材の情報を発信する厚生委員長3年1君と副委員長2年M君【左】いつも有り難うございます。青葉小学校栄養教諭藤原恵美子先生と給食配膳員岩下圭子さん【中】「完食！」残食0を目指す3年2組貞池学級。副食が見事に注ぎ分けられた食缶【右】

また、今回のアンケートで、本年度の生徒の皆さんの「よさや特色」が見えてきました。これらのよさや特色を、学校と保護者や地域の皆様方が連携して、学校の伝統として育てていきましょう。

※ （保護者ポイント）【生徒ポイント】

本校生徒のよさ・特色

② 身なり	(3. 6) 【3. 6】	③ 挨拶	(3. 3) 【3. 4】
④ 時間を守る	【3. 2】	④ 学校の清掃	【3. 2】
⑥ 忘れ物をしない	(3. 2) 【3. 1】	⑦ 読書習慣	(2. 8) 【3. 1】

本校は、生徒の皆さんが社会人として自立するために、「挨拶・掃除・身なり」の3つのマナーを身に付けてもらいたいと考えています。本年度も中間自己評価では、「挨拶」(3. 3) 【3. 4】、学校での掃除【3. 2】、「身なり」(3. 6) 【3. 6】の高いポイントを得ることができ、生徒の皆さんの姿勢の中に、確実に定着してきています。今後も一層の推進を図るため、生徒会の皆さんとの取り組みを強化し、生徒の皆さんの自主的な活動を組織していきたいと考えます。

【挨拶：生徒指導・生徒会】本年度も、生徒会執行部の活動で、朝の挨拶運動を今後も適切に位置付け、一層の推進を図ります。

生徒会執行部は、昨年度から「挨拶標語コンクール」に取り組んでいます。生徒会執行部のコメントを紹介します。

「生徒会執行部では、毎週水曜日に挨拶運動を行っています。それに加えて、今年度も『挨拶推進運動』に取り組んでいます。今後もいろいろな活動を行い、高須中学校を元気な挨拶一杯にしたいと思っています。今回の標語は、校内で発表し、今年一年間の挨拶標語になります。これからも、挨拶を大切にして、高須中学校を元気あふれるよりよい学校にしていきたいと思います！」

「あいさつ標語コンクール」入選作品を紹介します。



「おはようございます。」毎週水曜日の朝、正門と中央昇降口付近で、生徒会執行部の皆さんの爽やかな挨拶が響き渡ります。元気な挨拶は、高須中学校の伝統です。

あいさつ標語コンクール2012

○ 3年生		
最優秀賞	「目が合った 自然と交わす あいさつを」	(3年2組 Iさん)
優秀賞	「挨拶は いつも使える 魔法の言葉」	(3年3組 Hさん)
○ 2年生		
最優秀賞	「あいさつは 心をつなぐ 第一歩」	(2年2組 Hさん)
優秀賞	「あいさつを するたび心の 花ひらく」	(2年1組 Oくん)
○ 1年生		
最優秀賞	「挨拶は 心の扉 開く鍵」	(1年2組 Nさん)
優秀賞	「おはようの 言葉でひろがる 笑顔の輪」	(1年3組 Aさん)

【掃除：清掃指導】本年度、清掃に対する意識を高めていくために、本校職員が模範となって清掃指導に取り組んでいます。そして、美化委員会の活動で日々の清掃指導、学期末の大掃除などで、清掃活動の自主性を向上させています。また、本校は、12月1日(土)に地域清掃活動の取組を検

討しています。PTAと連携した活動に発展できればと考えています。



7月、ワックスがけをするために、教室の床を丁寧に清掃する3年4組山谷曜子学級の皆さん【左】「玄関は学校の顔」きれいに床を磨く3年生の皆さん【中】第2期防音工事に向け、学校内の廃棄する物品を搬出し、後片付けをする先生方と3年生の皆さん。猛暑の中、汗だくになりながらの作業を、真剣に行ってくれました【右】

【身なり：生徒指導】本年度も、生徒会生活委員会を中心に、登校指導中や朝の会、授業中などで呼びかけを行うとともに、生徒指導通信の定期的な発行・啓発、服装点検等を今後も適切に位置付け、一層の推進を図っています。

また本校は、生徒の皆さんに「確かな学力」を身に付けさせるためには、まず、学習規律や集団規律の確立を図ることが大切であると考えています。中間自己評価では、「時間を守る」【3. 2】、「忘れ物をしない」(3. 2)【3. 1】のポイントを、昨年度と同様に得ることができ、生徒の皆さん意識が定着してきているよう思われます。

【忘れ物：教務】学校は、家庭学習への意識を高めるために、学習道具を毎日持ち帰るように指導しています。また、各学年や各教科ごと、学習委員会などで忘れ物点検を行い、指導の徹底を図ります。

【時間を守る：生徒指導】教職員は今まで通り始業の合図と同時に授業を開始するとともに、生徒会生活委員会の活動で遅刻点検を行うなど、今後も適切に位置付け、一層の推進を図ります。

また、一昨年度から本校は、「学校図書館の機能の充実と計画的な利用を推進し、望ましい読書習慣の形成を図る。」ことを目標とし、図書館の環境整理と図書整理、積極的な図書館の開放を進めています。しかし、昨年度まで本校は、学校図書館嘱託職員の先生にお越しいただいておりましたが、本年度は、配置されませんでした。そのため本年度は、ブックヘルパーの方々に大変なご負担をおかけしています。今後も、ブックヘルパーの皆様のお力をお借りし、図書館担当の先生方と図書委員会の活動を中心に、居心地のよい図書館の環境づくりに取り組んでいきます。

また、本年度も、昨年度までの成果と今後の課題を検証されるため、教育委員会中村直史指導部長と毛利浩課長が視察に来られました。

中間自己評価では、「2週間に1冊程度本を読む」「1ヶ月に1冊以上本を読む」答えた生徒の合計が76%に達し、昨年度と同様に、読書意欲の高い生徒が多く見受けられます。

6月、今後の北九州市の学校図書館の方向性について視察される中村部長と毛利課長【上】7月、生徒会図書委員会の様子。東日本復興支援活動「人生一冊プロジェクト」の取組を説明する図書委員長Mさんと副委員長Aさん、図書館担当福井純子先生【右】



また本校は、生徒の基礎学力の向上や道徳教育・人権教育・生涯学習の視点から読書習慣を身に付ける必要があると考えています。今後ともご家庭と連携して取り組んで参ります。

【読書習慣：図書館教育】今後とも本校は、全校一斉の朝の10分間読書に取り組み、生徒の読書習慣の定着を図っていきます。本年度もブックヘルパーの皆さんのご協力を得て、昼休みに開館できる体制（学年ごと）を整えています。また、生徒の皆さんに読書に親しんでもらおうと、本の配置図を掲示したり、新着図書の紹介を行っています。利用回数についてはまだ個人差が見られます。今後も、図書館の積極的な利用を全校生徒に啓発していきたいと思います。



4月15日（日）「子ども読書の日」の取組の様子。O・ヘンリー著「二十年後」と星新一著「おーいでてこーい」を放送で全校生徒に読み聞かせした生徒会執行部と林田利恵先生【左】「どろんこねこちゃん」をエブロンシアターで熱演される1学年主任谷井正隆先生【中】絵本「あらしのよるに」（木村裕一作・あべ弘士絵）を読み聞かせする1年の先生方と真剣に聞き入る1年生の皆さん【右】



全校一斉朝の10分間読書の取組を通して、生徒の皆さんの読書習慣の定着を図っています。読書に親しむ生徒の皆さん。【左から順に3年2組貞池和恵学級・2年4組中野恭子学級・江嶋雅代特別支援学級の皆さん】

3 2学期以降の検討課題及び改善点

本年度も本校は、生徒のよさ・特色として今後一層育てていきたい項目として以下の項目を考えています。

※（保護者ポイント）【生徒ポイント】

※ 本校生徒のよさ・特色として今後一層育てていきたい項目

- | | | | |
|----------|---------------|---------|---------------|
| ① 家庭学習習慣 | (2. 4) 【2. 4】 | ② 家庭の清掃 | (2. 4) 【2. 6】 |
| ③ 早寝・早起き | (2. 7) 【2. 9】 | | |

特に平均ポイント2.5を下回っている項目「家庭での掃除」や「家庭学習習慣」につきましては、保護者の皆さんとも連携して、取り組んでいきます。

① 家庭での掃除

本校は、学習規律や集団規律を定着させるためには、まず環境の整備が大切であると考えています。今後も、生徒の皆さんと教職員が一体となって校内の環境整備に取り組んでいきます。しかし、家庭での掃除の習慣が身に付いている生徒はまだ少ないようです。今後も保護者の皆さんとも連携して清掃の習慣化を図って参りたいと思います。

【清掃指導】本校の清掃活動・環境整備などの取組を、「校長通信ジャガイモ」等で情報発信します。また、保護者の皆さんと連携した地域清掃活動を検討するなど、今後も保護者の皆さんと共に取り組んで参りたいと考えています。



4月、満開の桜と手入れの行きとどいた花壇の花々が、生徒の皆さんを迎えてくれます【上】9月、校務員の藤崎一久先生が丹精込めて育てた校門前の花々が満開です【左】本校の憩いの場である中庭。来客の皆さんが、手入れの行き届いた中庭を必ず褒めてくださいます。芝生の手入れをされる藤崎先生【中】柔道部の皆さんによる朝の地域清掃活動の様子【右】



4月、昨年植えたチューリップの花が満開に。笑顔の江嶋雅代特別支援学級の皆さん【左】春のポカポカ陽気の中、スケッチを楽しむ美術部員の皆さん【中】剣道部の皆さんによる朝の地域清掃活動の様子。清掃活動を通して心を鍛えています！【右】

② 家庭学習の習慣

家庭学習の習慣については、「家庭学習を週7時間以上する」「家庭学習を週3時間以上7時間未満する」と答えた生徒の合計が44%で、半数以上の生徒が週3時間未満の家庭学習しか行っていません。昨年度から本校では、各教科ごとに家庭学習での課題の出し方等を工夫していきますが、保護者の皆さんとも連携して家庭学習の習慣化を図りたいと考えます。

【教務】今後も各学年や各教科ごとに学習課題の出し方を工夫・改善し、家庭学習習慣の定着を図ります。家庭学習の習慣を身に付けるためには、次のポイントを大切にしてください。

家庭学習をつけるポイント
【中学生の家庭学習の目安は、90分】

- ① 毎日「机に向かう」習慣を
- ② 時間を決めて、まずは宿題を
- ③ すすんで予習と復習を
- ④ 持ち物の準備は前日に

※「家庭学習のススメⅡ」（北九州市教育委員会）



昨年度から本校は、「全ての子どもに基礎学力を定着させることを目的とした学習活動の工夫」を目指し、学習指導の工夫改善を推進しています。6月、教育センター委嘱研究・1年1組特別活動「学級からの提言！アクアリボン運動」の研究授業を行う秋吉大輔先生【上】9月、1年4組指導主事要請研究授業「数量の関係を表式で表そう」を行う数学科山谷曜子先生【左】9月、1年4組指導主事要請研究授業「植物の体のつくりとはたらき」を行う理科今徳美里先生【中】6月、2年2組指導主事要請研究授業「先生にお願い」を行う英語科高田真衣先生【右】



7月4日（水）の5・6校時、進路指導主事宮崎工先生を中心とする3学年の先生方が、半年前から企画・準備をされ、このワクワクする「出前授業」を、3年生の皆さんの進路(家庭学習)のきっかけ作りの一つとして、仕掛けてくださいました。そして、心強い仕掛け人3学年教職員集団とそれに応える3学年生徒集団の心意気が、今、ぴったりと合ってきているような気がします。
【上から順に】○希望が丘高校（自動車実習）○星琳高校（調理実習）○美萩野女子高校（情報処理）○希望が丘高校（美容実習）○豊国学園高校（保育実習）○真颯館高校（デザイン実習）等。

③ 早寝・早起き

福岡県家庭教育推進協議会から配布された「家庭教育のすすめ」によれば、「早く寝る子どもの方が、学習意欲が高い」という傾向が見られるそうです。夜更かしは、「朝寝坊→慢性の時差ぼけ→眠れない」という悪循環をまねき、疲労感や食欲低下、体調不良につながります。早寝早起きをすると、体内時計がリセットされ、体のリズムが整い、1日を意欲的に過ごすことができると言われています。次年度も保護者の皆さんとも連携するとともに、生徒の皆さんへ啓発していきたいと思っています。

【保健指導】中学生は夜11時までには寝るようにしましょう。また朝は、自分で起きるようにしましょう。これが自立の第一歩です。次年度も保護者の皆さんと共に考え、取り組んでいきたいと思っています。

早寝・早起きは自立の第一歩

○11時までには寝るようにしましょう。 ○朝は、自分で起きるようにしましょう。